Cisco Unified Communications Managerの管理者アクティビティを監査するためのリアルタイムモニタリングツールの設定

内容

概要

このドキュメントでは、Cisco Unified Communications Manager(CUCM)のリアルタイムアクティビティを表示および監査するようにReal Time Monitoring Tool(RTMT)を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CUCM の管理
- CUCMトレースの設定
- RTMTナビゲーション

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified Communications Manager
- リアルタイム監視ツール

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

CUCMの場合、アプリケーション監査ログは、Communications Manager Administration、Cisco Unified RTMT、Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting、Cisco Unified ServiceabilityなどのCUCMインターフェイスの設定更新をサポートします。

IM and Presenceサービスの場合、アプリケーション監査ログは、Cisco Unified Communications Manager IM and Presence Administration、Cisco Unified IM and Presence Real-Time Monitoring Tool、Cisco Unified IM and Presence ServiceabilityなどのIM and Presenceインターフェイスの設定更新をサポートします。

Cisco Unity Connectionの場合、アプリケーション監査ログは、Cisco Unity Connectionインターフェイス、Cisco Unity Connection Administration、Cisco Unity Connection Serviceability、Cisco Personal Communications Assistant、およびConnection REST Application Programming Interfaces(API)を使用するクライアントの設定更新をサポートします。

設定

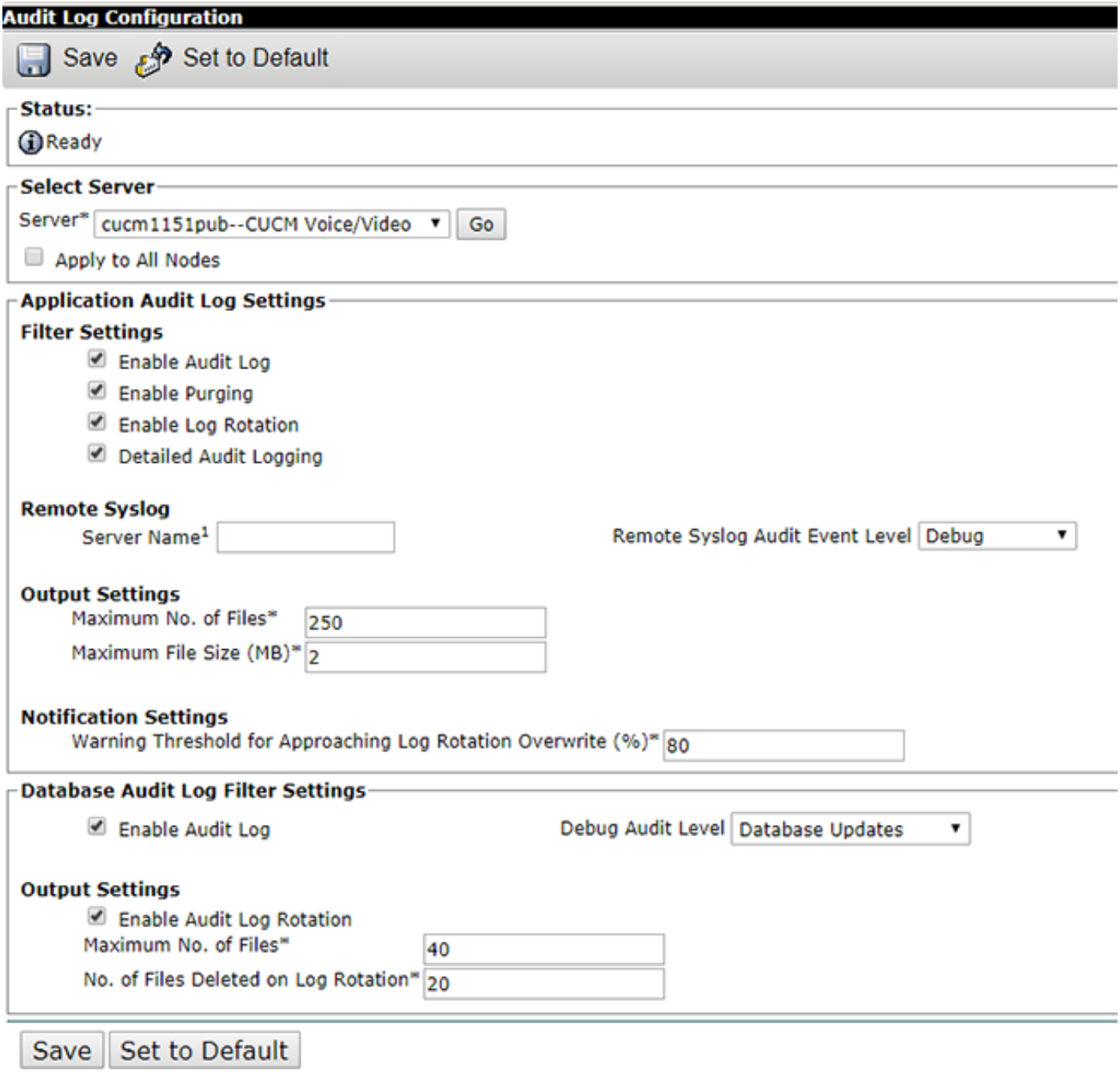
次の手順に従って、監査ログ機能を設定し、RTMTから監査証跡を表示します。

ステップ1：監査ログを有効にします。[Cisco Unified Serviceability] > [Tools] > [Audit Log Configuration]に移動し、これらのパラメータを有効にします

- 監査ログの有効化
- パージの有効化
- ログのローテーションの有効化
- 詳細な監査ログ(詳細な監査ログは、通常の監査ログと同じ項目を提供しますが、設定変更も含みます。たとえば、監査ログには、変更された値を含む、追加、更新、および削除された項目が含まれます)。

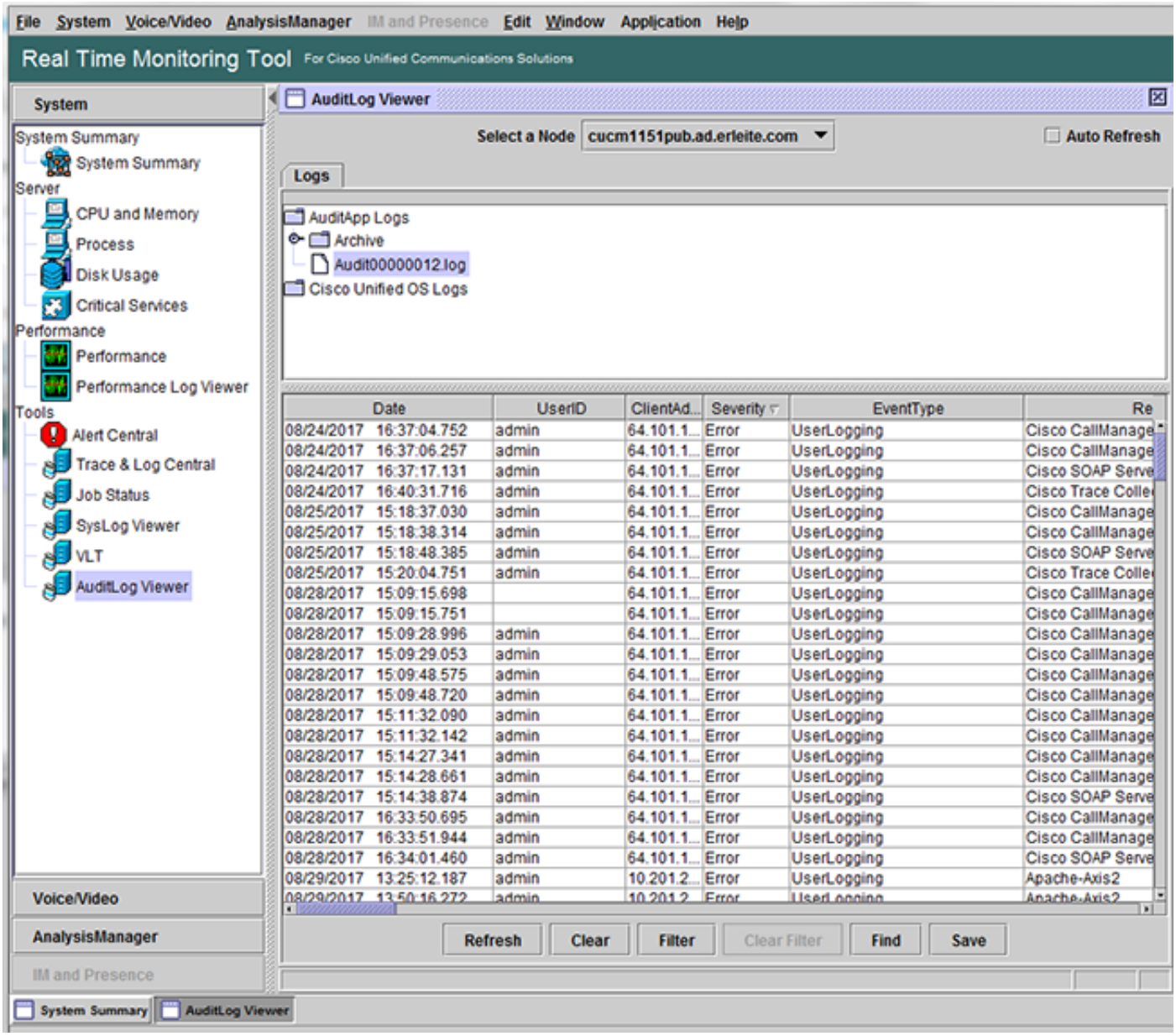
  注：これらのサービス、Network Service Audit Event Service、およびNetwork Service Cisco Log Partitions Monitoringを有効にする必要があります

  ヒント：ログのローテーションが無効（オフ）の場合、監査ログは[ファイルの最大数]設定を無視します。

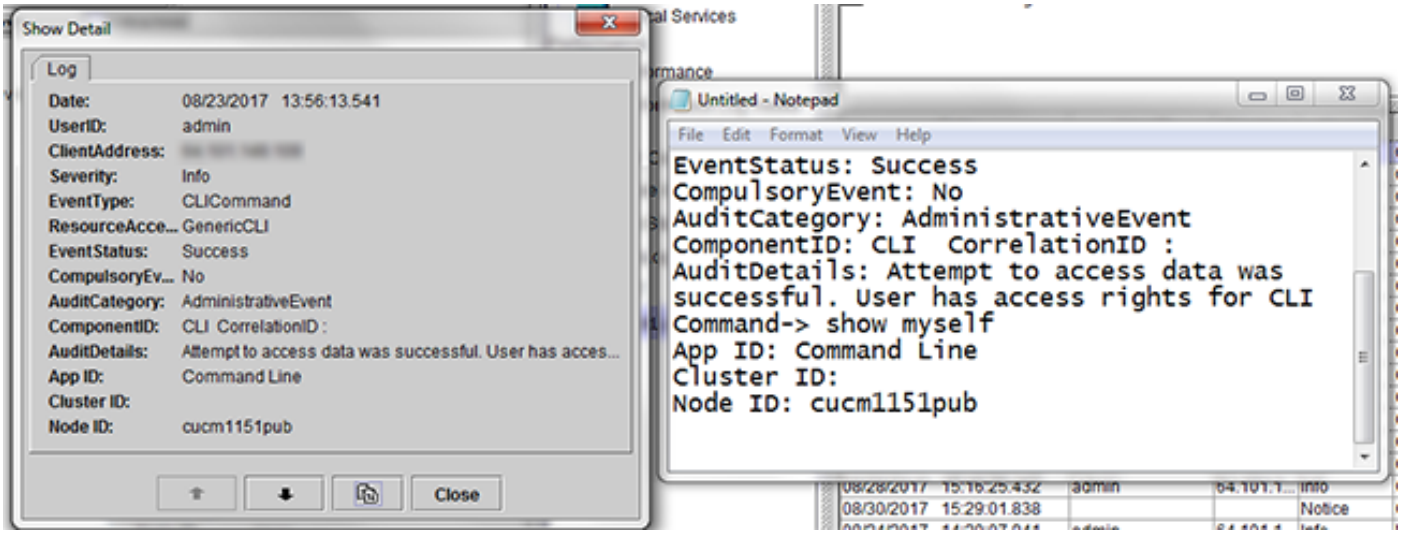


ステップ2:RTMTを使用して監査ログを表示できます。Cisco RTMTを開いてログインします。[システム] > [ツール] > [AuditLog Viewer]に移動し、アクティビティを監視するノードを選択します。

ステップ3:[AuditApp Logs]を選択し、選択リストから目的の.logファイルを選択します。選択したログファイルのイベントが表示されます。



ステップ4：イベントの詳細を表示するには、目的のエントリを2回選択します。この例では、コマンド**show myeがノードcucm1151pubで実行されたことを示すCLIコマンド監査証跡があります**。別の場所に貼り付けることができるアラートの詳細をコピーするには、二重ページの画像が付いたアイコンを選択します。



ヒント：[自動更新]のチェックボックスをオンにすると、AuditLog Viewer内のログエントリに対する動的な更新が有効になります。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシュート

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- 監査ログの構成設定